

あたごはま

今月のめあて

友だちを大切にしよう。

- ・ふわふわ言葉を使おう
- ・自分から困っている人に声をかけよう



愛宕浜音楽会を開催 ～ご参会ありがとうございました～

本校は、新学習指導要領を先取りするため、他校より年間35コマ多く授業を行っています。その時間を確保するため、本年度より、全学年の学習発表会から、1・3・5年生限定の音楽会に変更しました。いかがでしたでしょうか。子どもたちの発表を通して学校文化の薫りに触れていただくことができたのではないかと考えています。今回発表できなかった2・4・6年生は、3学期に生活科や総合的な学習の時間で学んだことを披露します。これにつきましても、よろしくお願い致します。

1年「おとをあわせて」

- 演目 ・ はる なつ あき ふゆ ・ きらきらぼし
 ・ 崖の上のポニョ ・ We will rock you

初めての鍵盤ハーモニカ、楽しいボディーパーカッション、そして堂々とした歌と踊りで楽しませてくれました。とても元気でかわいい舞台に感激しました。



3年「まほうでつながる言葉」

- 演目 ・ クラッピングファンタジー ・ パフ
 ・ おかしのすきなまほう使い

3年生になって初めて手にしたリコーダー。指づかい、息づかい共に難しい楽器を短期間で習得。歌と合わせて音楽劇風に仕上げてくださいました。特におかしのすきなまほう使いの歌は圧巻でした。

5年「シンクロ ～心を合わせて～」

- 演目 ・ ラバーズ・コンチェルト ・ つばさをだいて
 ・ シンクロ BOM-BA-YE

リコーダーの特性を生かしながらしっとりと演奏した「ラバーズ・コンチェルト」、美しいハーモニーを醸し出した合唱「つばさをだいて」迫力ある器楽演奏。さすが5年生というべき舞台でした。



12月の主な行事（確定）

1	金	もちつき準備 PTA 役員会 10:30
2	土	もちつき会
4	月	2日(土)の代休日
6	水	代表委員会
8	金	学級懇談会(1・2・3年 15:00～15:50) (4・5・6年 16:00～16:50) いじめゼロの日
11	月	こころの劇場(6年)
13	水	スクールカウンセラー訪問日
14	木	委員会活動
15	金	PTA 運営委員会 10:30

20	水	防災センター見学(3年)
21	木	2学期給食最終日
22	金	2学期終業式
23	祝	天皇誕生日
27	水	御用納め(28日が代休のため)



1月の主な行事（変更あり）

1	祝	元日
4	木	御用始め
8	月	成人の日
9	火	3学期始業式
10	水	いじめゼロの日 3学期給食開始
11	木	PTA 役員会 10:30
18	木	クラブ活動(3年クラブ見学)
19	金	西区音楽会(3・4年)
22	月	租税教室(6年)
25	木	人権学習参観・懇談会

平成29年度 第8号(12月号)

「二学期制」について

本校は、現在「三学期制」をとっておりますが、来年度から「二学期制」を導入したいと考えています。学校だよりの紙面を借りて、今、なぜ二学期制なのか、そう考えた理由について説明いたします。

理由1：適切な時期を選んで補充発展の学習を実施することができる。

福岡市は昨年度より夏休みの短縮と年4回の土曜授業で得られた30コマ程度の時間を用いて補充・発展学習を実施していますが、残念ながら1学期にはその時間を確保できていません。配當時数に十分な余裕がないからです。やむなく夏休み明けに実施していますが、生み出した時間を効果的に使えていないと感じています。二学期制にすると、年間約210日の授業日数を前期と後期、ほぼ均等に割り振ることができます。そうすれば、学期途中の効果的な時期を選んで補充・発展の学習を仕組むことが可能となります。

理由2：教師が児童の状況をゆとりをもって評価することができる。

現在、担任が通信表の準備をするのは、7・12・3月の3回です。二学期制をとると、10・3月の2回になります。結果、教師は夏休み期間中に記録を整理し所見を書くことができますし、慌ただしい年末に事務処理に追われることもなく学習指導に専念できます。結果的に子どもと向き合う機会や時間を確保することができ、生徒指導も学習指導も充実したものになると考えます。

理由3：新学習指導要領の完全実施に必要な授業時数を確保する助けになる。

二学期制にはそれほど多くの時数を生み出す効果はありませんが、足りない時数を確保するためのひとつの要素となることは間違いありません。チャレンジタイム(短時間学習)やそれを組み込んだロング学習枠の活用と兼ねた時間管理の役に立ちます。二学期制をとっても行事等の大きな変化はありませんが子どもが長期休業前に通信表を持って帰ってくるものがなくなります。このことで、保護者の皆様の中には違和感を感じられる方もいらっしゃると思います。このような大きな変更ですので、私自身の言葉で説明をしたいと考えています。12月8日(金)の学級懇談会の冒頭、校内テレビ放送でお話ししたいと考えていますので、是非、ご参加ください。

午前中5時間授業について (アンケートへのご協力ありがとうございました)

本年度より、午前中5時間授業を実施しています。学習効率の向上と必要な授業時数の確保を目的として実施したこの時制は、現時点で大きな問題や混乱もなく実施できていますが、課題を洗い出すとともに改善することを通してよりよい仕組みに変えていきたいと考えています。その手始めとして、学校評価アンケートに『「午前中5時間時制」によって、子ども達の生活は充実したと思いますか。』という質問項目を設け、保護者の皆様の受け止め方をお尋ねしました。

その結果、は右のグラフで表す通りです。

有効回答数313の85.6%にあたる268名の方から肯定的な評価をいただくことができました。また、D評価の10倍にあたる方からA評価をいただいています。この2点をもとに午前中5時間制は概ね支持されていると考えました。

自由記述の欄に書かれていたことにも注意を払いました。改善の方向性を見いだすヒントが隠されていると考えるからです。以下、いただいたご意見・ご感想並びにそれを改善する案を3つに分けて紹介します。

- 下校が早くなった分、子ども達が忙しく余裕がなくなった。(1名) ○午前中5時間授業は、集中力が続かないのではないかと。(1名)
- 昼食時間が遅くなったことが気になる。(1名) ○時間に余裕のない学校生活が心配だ。休み時間が短い、トイレお茶の余裕がない等(3名)
- * 時間割としては確かに窮屈です。また、昨年度と比べ給食開始の時刻が10分遅くなっています。始業時刻をもう少し早めることで改善することができるのではないかと考えます。今後の検討課題といたします。
- 授業時間の中でトイレや次の授業の準備を行っている。(1名) ○実質の授業時間が減っているように思えて心配だ。(1名)
- * 1校時と2校時、4校時と5校時の間に準備時間がありません。窮屈さを感じる原因の第1だと考えます。また、トイレや休息の時間をとれば、事実上毎日10分の時間が消えていることとなります。これも始業時刻を早めることで改善できると考えます。しかし、3年生以下の児童については、事実上、授業可能時数は増えています。ざっと計算しても、昨年度に比べ、2・3年生は10時間以上、1年生は20時間以上の授業可能時数を得ました。毎日10分減(年間35時間程度)と相殺すると、それほど大きなマイナスとはなっていないこととなります。
- 下の子のお迎えと時間が重なってしまう(2名) ○子どもは疲れていないが、教員が疲れているならば心配だ。(1名)
- * 2つめのご意見は、めぐりめぐって子どもにマイナスになるのではないかとご心配です。貴重なご意見ありがとうございました。今後、教育課程の編成や評価、改変にあたって心しておきたいと思えます。

午前中5時間授業で子どもの生活は充実しましたか

